

東京大学 総合図書館の貴重図書 田中芳男文庫の『摺拾帖』などをデジタル公開 ～田中芳男・博物学コレクション公開～

東京大学総合図書館では2018年8月6日、東京大学デジタルアーカイブズ構築事業の一環として、総合図書館所蔵で所蔵する田中芳男文庫のうち、幕末から大正にかけてのパンフレットや商品ラベルなどの膨大なスクラップブック『摺拾帖(くんしゅうじょう)』(当館貴重図書)などをデジタル化し、「田中芳男・博物学コレクション」としてインターネット上に一般公開しました。

これにより、明治時代の博物学者である田中芳男が自ら収集した当時の貴重な資料群を、1ページずつ高精細の画像としてインターネット上でいつでもご覧になれます。

また総合図書館は2018年6月から、当館がインターネット上に公開した当館所蔵資料の画像データ等については、利用目的を問わず、特段の手続きを経ることなく利用できるようにしました。今回の『摺拾帖』も自由に利用することができますので、教育・研究での利用はもちろん、様々なシーンで、この多彩な資料をご活用ください。

【「田中芳男・博物学コレクション」の概要】

資料名	冊数	画像数	資料の概要
摺拾帖 (93冊) , 新古大摺拾帖 (1冊)	94冊	12,718枚	『摺拾帖』は、安政年間から大正年間まで、田中芳男自身が手にした様々な印刷物(商品の広告やラベル、料理屋の箸袋、催物のプログラム、番付、晩餐会の招待状、乗り物の時刻表など)を年代ごとに貼り込んだものです。本編と附録一冊から成ります。 『新古大摺拾帖』は、『摺拾帖』の増加分として1913(大正2)年に田中芳男自身の手で追加された1冊です。
外国摺拾帖	5冊	917枚	1866(慶応2)年11月、田中芳男は幕府よりパリ万国博覧会に派遣され、現地で博覧会パンフレットやチケットなど様々な資料を収集しました。帰国後、それらの印刷物を貼り込んだものです。
博物帖	1冊	200枚	幕末の頃から明治時代に開催された物産会や博覧会などの案内状や入場札などの印刷物、関連資料などを貼り込んだものです。
摺拾印刷雑帖	1冊	170枚	題簽に「明治三十年神戸市第二回資産博覧会 夫ヨリ伊勢ニ至ルマデ 田中芳男 三十一年三月貼附畢」と書かれてあるとおり、資産博覧会関係の資料等を貼り込んだものです。

【公開サイトの情報】

公開サイト名「田中芳男・博物学コレクション」

アクセス方法1: 次のURLへアクセスしてください

<https://iiif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/tanaka>

アクセス方法2: 東京大学附属図書館ウェブサイトからもアクセスできます

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

→ 附属図書館ウェブサイトの「コレクション」をクリック

→ 「田中芳男・博物学コレクション」をクリック



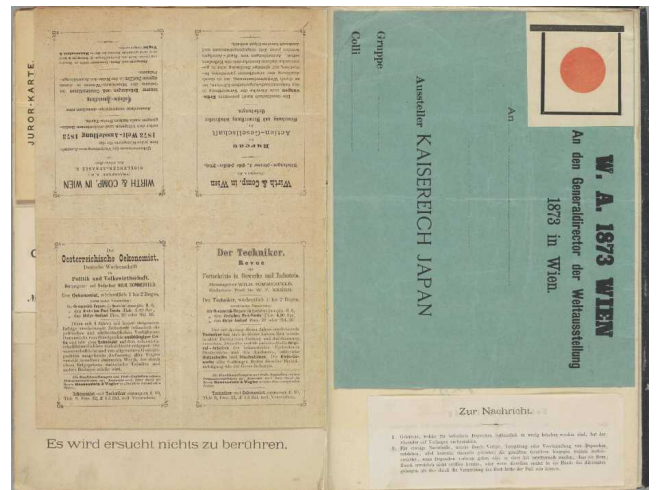
『摺拾帖』三（文房具店のラベルなど）



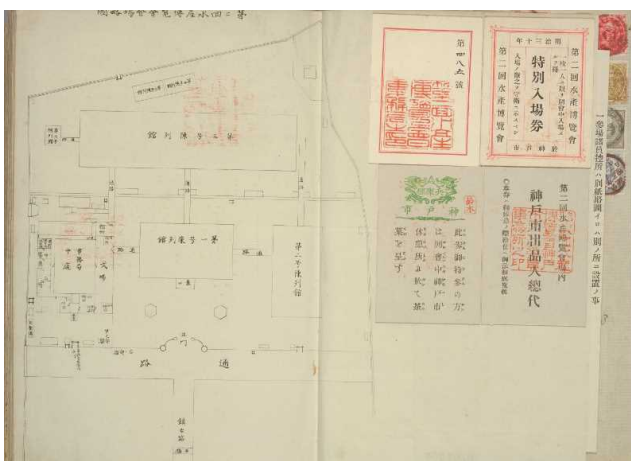
『摺拾帖』二十五（さけ缶のラベルなど）



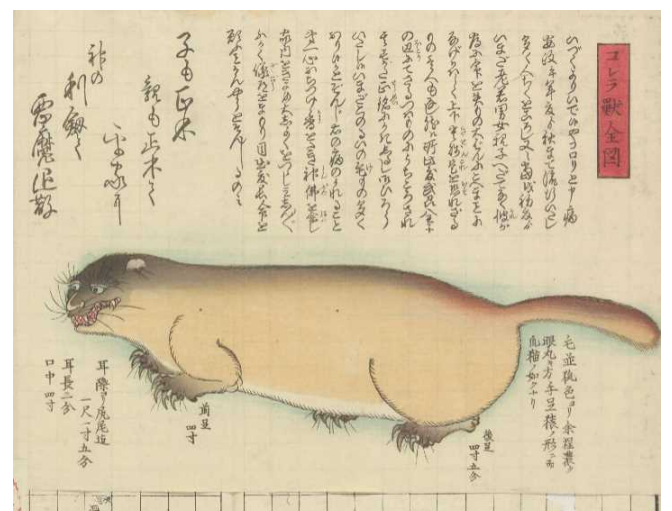
『摺拾帖』四十四（昆布羊羹のラベルなど）



『外国摺拾帖』三（ウィーン万博資料など）



『摺拾印刷雑帖』（第二回水産博覧会の入場券など）



『博物帖』（「コレラ獣全図」とある資料など）

この他にも多くの資料を公開しています。
ぜひ「田中芳男・博物学コレクション」の
多彩な資料をご活用ください。

【田中芳男 Tanaka Yoshio について】

田中芳男（1838(天保9)年～1916(大正5)年）は信州飯田藩の医師の家に生まれ、若い頃、医術、本草学を名古屋の伊藤圭介（日本で初の理学博士号取得者、後に東大教授）に学び、その後多くの博物関係の資料及び標本を収集しました。

また、1866（慶応2）年11月にパリ万国博覧会に幕府から命ぜられて出張したことをきっかけに、殖産興業の発展を図るため博覧会を開催することの重要性を主唱するようになり、1877（明治10）年の我が国初の内国勸業博覧会を皮切りに、多くの博覧会開催に携わり、関係資料の収集に努めました。1906（明治39）年には勲一等瑞宝章を、1914（大正3）年には学術及び農林水産行政その他多くの分野における長年の功績が認められ、男爵の爵位を授けられました。

総合図書館所蔵の田中芳男文庫（約6,000冊）は、孫の田中美津男男爵によって1931（昭和6）年に東京大学に寄贈されたものであり、我が国における博物学及び博覧会関係の貴重なコレクションです。

【総合図書館が公開する画像の利用について】

総合図書館が公開するデジタル画像やメタデータをもっと便利に活用していただくために、総合図書館では2018年6月に、デジタル画像等の利用条件を変更しました。総合図書館の所蔵資料のうち、以下の条件に該当する画像等は利用目的を問わず、特段の手続きなく利用することができます。

■対象となるデータの条件：次の条件を全て満たすものが対象です。

- ・ 総合図書館の所蔵資料のうち、著作権の保護対象ではない資料のデジタル画像及びその関連データ
- ・ 総合図書館がインターネット上に公開したもの

■利用条件

- ・ 閲覧、印刷、ダウンロード、リンク形成はもちろん、二次利用（画像の転載、改変、再配布など）についても手続き不要です。「商用」「非商用」などの利用目的も問いません。
- ・ ただし二次利用の際は、当館の所蔵資料であること、また画像の改変を行った際はその旨の明示をお願いします。

※「田中芳男・博物学コレクション」も、上記の条件でご利用いただけます。

【東京大学デジタルアーカイブズ構築事業について】

東京大学は「東京大学ビジョン2020」のアクションの一つに「学術の多様性を支える基盤の強化」を掲げ、「東京大学が保持する学術資産のアーカイブを構築し、その公開と活用を促進することで、学術の多様性を支える基盤を強化する」としています。これを受け「東京大学学術資産等アーカイブズ委員会」を設置し、本学の多様な学術資産等のデジタルアーカイブ化を行い、かつ国内外に向けて広く公開し、その活用を促進するための東京大学デジタルアーカイブズ構築事業を2017年度から実施しています。また、附属図書館内に学術資産アーカイブ化推進室を設置し、事業推進に取り組んでいます。

詳しくは、本事業のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/archives-top>

【お問い合わせ先】

- 本プレスリリースについて、デジタル化事業等について、その他（全般）
総合図書館 総務課 学術資産アーカイブ化推進室 digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp
TEL: 03-5841-2615
- 総合図書館所蔵資料（原資料）の閲覧について、画像データ等の利用について
総合図書館 情報サービス課 参考調査係 sanko@lib.u-tokyo.ac.jp

参考資料：・ 博物館・博覧会と好奇心－田中芳男男爵旧蔵資料から(附属図書館特別展示)
<http://www-old.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/tenjikai94/>
・ 東京大学編『学問のアルケオロジー』（東京大学出版会、1997年）
・ モリナガ・ヨウ著『摺拾帖：東京大学の学術遺産』（KADOKAWA、2014）